横浜市立大学リカレントプログラム

位置情報データ活用オンデマンド講座

ロケーションインテリジェンス・エキスパート資格試験の受験資格授与



モビリティ産業をはじめ、観光、防災、都市計画、マーケティングなど幅広い分野でビジネス活用の重要度が増している位置情報データですが、データ分析から政策・事業への実装まで担える高度人材は不足しています。横浜市立大学のでは「実データに基づく施策提案人材の創出」や「現場のリテラシー向上」といった産業界のニーズに基づき、業界団体や企業と連携しながら学びのプログラムを開発しました。

LBMA　Japanが新設する「ロケーションインテリジェンス・エキスパート」資格（2027.1創設予定）と連動し、この位置情報データ活用オンデマンド講座修了者にのみ受験資格が与えられます。

また、さら実務に応用するスキルを身に付けるため、「位置情報データ活用実践ワークショップ」を別途用意していますので、そちらのご案内もご覧ください。

こんな方におすすめ！

- 人流データの実務への活かし方に悩んでいる方
- 各種の位置情報が実務でどのように役立つか知りたい方
- 位置情報データ・人流データの基礎知識を身につけたい 活用の実例を知りたい方
- 観光関連（宿泊、飲食、交通インフラ、イベント、エンターテイメント、DMOなど）に関わっている方
- エリアマネジメント、都市計画関連に関わっている方
- 国家公務員、地方自治体職員など

日程　2026.10.1（木）配信スタート　STEP 1~4

STEP1より順次配信を開始するe-learning講座です。1回10分程度の動画と確認テストで段階を追って学べます。

※ご自分のペースでいつからでも開始できます。（受講期間：開始後、4か月間）

※修了すると、「ロケーションインテリジェンス・エキスパート」資格試験の受験資格が得られます。

受講料　49,000円（税込）

※受講修了先着100名様に限り、ロケーションインテリジェンス・エキスパート資格試験の受験料・認定料15,000円が無料。

主催　横浜市立大学

共催　一般社団法人 LBMA Japan
株式会社ゼンリンデータコム

問い合わせ先　横浜市立大学　社会連携センター
〒220-8107
横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー7階
横浜市立大学みなとみらいサテライトキャンパス
Tel：045-681-7560
E-mail：recurrent@yokohama-cu.ac.jp

お申し込みはこちら

文部科学省 補助事業
産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業
採択プログラム

横浜市立大学　THE LBMA Japan　ZENRIN DataCom

プログラム内容

STEP1 全体理解・位置情報とEBPM

1－1　位置情報データ活用人材育成プログラムと到達目標
1－2　位置情報データと手引きの色々
2－1　事例にみる位置情報テータの活用①
2－2　事例にみる位置情報データの活用②
3　人流データの利活用とメリット
4　EBPMとロジックモデルの考え方
5　活用のステップ
6　人流データの用途と目的

担当　横浜市立大学 有馬 貴之

STEP2 位置情報・人流データ基礎

1－1　人流データの4つの種類と使い分け
1－2　データに求める選定要件
2－1　直接計測：カメラ画像による人流データ
2－2　直接計測：LiDARセンサーによる人流データ
3－1　携帯機器由来：基地局・GPSデータの特徴
3－2　携帯機器由来：Wi-Fi・Bluetoothビーコンの特徴
4　計測データと推計データ/サンプルサイズ
5　データ形式とフォーマット
6　個人情報保護の基礎①②③④⑤
7　設置個所の選定と協議・申請
8－1　AI・機械学習と位置情報
8－2　生成AI・LLMによる分析支援
8－3　合成人流データとは何か

担当　株式会社ゼンリンデータコム 横内 詳平
横浜市立大学　有馬 貴之　落合 桂一　戸田 浩之　尾崎 順一

STEP3 データの活用設計・分析フレーム

1－1　課題→仮説→分析→検証の型
1－2　EDAと仮説検証型データ分析の違い
1－3　KPI設計の考え方
2－1　時系列比較・集計単位変更
2－2　DIDの考え方と群比較の限界
3－1　回遊分析：回遊率・回遊離脱率
3－2　補正・推計、属性/来訪目的の付与
4－1　GISの基礎的考え方
4－2　可視化ツールと閾値・段階区分
5　自ら取得vs調達の判断
6　比較対象の重要性と解釈の落とし穴

担当　横浜市立大学 有馬 貴之
株式会社ゼンリンデータコム 横内 詳平

STEP4 ドメイン知識（ケーススタディ・観光）

1　観光の定義と構造
2　観光行動のパターンと規定要因
3　5段階プロセス
4　STP・AICEAS・条件×結果データ
5　混雑回避・誘導
6　訪日外国人観光客の行動調査
7　STEP3手法の観光ケースへの適用

担当　横浜市立大学 有馬 貴之

講師紹介



横浜市立大学 都市社会文化研究科
准教授 有馬 貴之

観光地理学、観光経営学、観光地発達史、空間分析（GIS）を専門とし、インバウンド観光・オーバーツーリズム、観光関連商品の企画・開発等に携わっている。



株式会社ゼンリンデータコム
プロダクト事業本部 プロダクト第三事業部
副部長 横内 詳平

戦略系コンサルティング企業を経て、ゼンリンデータコムへ入社。15年以上位置情報分野に携わり、業界を問わず位置情報ビッグデータの導入を支援、累計400社を超える企業を担当。

横浜市立大学 データサイエンス研究科
教授 戸田 浩之

AI・データサイエンスを軸に、心理学、社会学等の知見を融合し、位置情報を含む人の行動データを扱う行動データサイエンスの研究に従事。

横浜市立大学 データサイエンス研究科
准教授 落合 桂一

人の意思決定支援や社会課題解決のために、人の行動や社会活動のセンシングとAI・データサイエンスの手法を組み合わせ、人の行動や社会のモデル化、予測を行う社会行動データサイエンスを研究している。

横浜市立大学 データサイエンス研究科
准教授 尾崎 順一

社会・経済物理学、計算社会科学を専門とし、人流や企業活動などの大規模社会データを分析。社会現象の仕組みや、背後の普遍的な法則を解明する研究に取り組んでいる。

ひらく×つなぐ＝かがやくYCU
横浜市立大学